

▲シンフォニア テクノロジー株式会社

一歩先を行く技術開発スピリットで人と社会に貢献 ——宇宙、半導体から自動車、社会インフラまで100年超の多彩なモノづくり

ここに
注目!

多様な分野のナンバーワン製品を多く有する圧倒的な技術力
少数精鋭の陣容ゆえに若手からでも活躍できる社内環境

一見まとまりがなく、これが一つの企業の事業ユニットなのかと思ってしまう。連結売上高1000億円弱、単体社員数2000人弱で、12もの事業ユニットを展開する中堅電機メーカー・シンフォニアテクノロジー株式会社だ。幅広い事業分野ゆえに業界トップ製品がないと思う人も多いと思うが、同社には圧倒的強さのナンバーワン製品がある。背景には、新たなことに挑戦し続けるスピリットがあるのだ。電磁力、制御、搬送といったコア技術をベ-



創業当時のシンフォニアテクノロジー（三重県・鳥羽）

スに、1917（大正6）年の創業以来、つねに「一歩先を行く技術」で多彩な製品を送り出し、技術オリエンテッドで社会に貢献してきたシンフォニアテクノロジー。豊かな社会を導く百花繚乱の製品群がいま、見事なシンフォニーを奏でている。

航空宇宙、半導体、自動車、FAなどのハイテク分野から、鉄道、空港・港湾、上下水道などの社会インフラまで、シンフォニアの活躍の場は幅広い。なかでも現在多忙を極めているのが、半導体製造用のクリーン搬送装置。ウェーハを半導体製造装置に送り込むためのロードポートと呼ばれる製品で、内部を窒素で満たしクリーン度を高める独自機構の開発などによりトップシェアを有する。2020年1月には豊橋製作所内の工場を増設し、タイの生産拠点を含め、現在までフル稼働が続いている。同じく好調なのがモーショシステム事業のダイレクトドラ

イブモータ。ミクロン単位の精密な位置決めが可能なことから、液晶パネルなどIoT関連製品の製造現場で需要が伸びている。

圧倒的な強みを持つ 製品が多数

長く、圧倒的な強みを持つ製品もある。代表格は戦前のほとんどの軍用機に搭載された航空機用電源システム。戦後も国内唯一の航空機用電源システムメーカーとしてのポジションを確保する一方、宇宙分野にも進出し、JAXAの打ち上げるロケットすべてに同社製の姿勢制御用アクチュエータが採用されるなど、最先端分野で確実に実績を積み重ねている。このほか鉄道車両の安全運行に欠かせない車両制御用ブレーキシステムや、各種FA機器用クラッチ・ブレーキ、食品加工からリサイクル分野向け振動搬送装置などの事業ユニットでも数多くのトップシェア製品を持つ。最近ではハードビジ



様々なフィールドで活躍する多彩な製品



営業に携わる若手営業担当



開発に携わる若手技術者



国内開発・生産拠点の豊橋製作所 (左) 伊勢製作所 (右)



ネスだけに留まらず、デジタル技術を用いた新たなソリューション製品を生み出すなどの動きが活発で、「製品技術を進化させ、一歩先を行く技術開発スピリットが当社のDNA」(嶽本幸一広報宣伝グループ長)という。戦前に製品化したレジスタが進化と変遷を経て、現在のプリンタシステムにつながっているのは、その典型と言える。

そんなDNAの源流は、創業時代に遡る。船舶用電機製品の自給化を目指した当時日本一の総合商社、鈴木商店系列の鳥羽造船所が、船舶用発電機を内製したのが同社の始まりだ。創業者の一人、小田嶋修三氏は、1年半の欧米視察で、特色のある製品の必要性を

実感。航空機用発電機や蓄電池式運搬車などの開発にいち早く取り組んだことが、同社の技術開発スピリットの基礎となった。その後、1936年に納入した電気バスをはじめ、戦後も鋼管電機としてユニークな商品を打ち出し続けた。

同社のDNAに宿る飽くなき挑戦は、再生医療や農業分野にも進み始めた。神戸医療産業都市推進機構との共同開発による自動細胞培養装置は、自社のロボット搬送技術を応用し、剥離・収穫までの細胞培養プロセスを自動化できる期待の製品だ。近く英国で臨床試験に入る。農業分野では、豊橋技術科学大学と5年間の包括協定を結び、AIやIoT技術を用いた自動搬

送機や植物工場システムなどの開発を通じて、農業従事者の高齢化に直面する地域農業を支えていく。

教育や働く環境整備にも注力

創業2年後の1919年には職工訓練所なる企業内学校を開設、技能だけでなくモラル教育にも力を入れるなど、人の教育に熱心な会社でもある。平均年齢39.3歳と製造系では珍しく30台をキープする一方、女性社員の育休復帰率は100%を誇る。少数精鋭が基本なだけに、挑戦意欲さえあれば若手でも活躍できる環境がある。創業100年を迎えたシンフォニアテクノロジーは、次の100年に向けて一歩も二歩も先を行く技術を見せてくれるだろう。

わが社を語る

代表取締役社長
斉藤 文則氏



「何にでも挑戦させてくれる」という企業風土、DNAが息づく

当社には、船舶用電装品の製作を開始した創業時から100年が経過した今日まで、時代の潮流の「一歩先を行く技術」を追求するDNAが息づいています。その背景には、「何にでも挑戦させてくれる」という企業風土があると考えています。

私自身も、若手社員の頃に「やりたいことがあれば、NOから入らず、何にでも挑戦させてくれる」という体験を幾度も経験しました。先輩社員や同僚達も同じよう

な経験をしています。当時から、時代は移り変わりましたが、この風土、DNAは、しっかりと受け継がれています。

当社は、半導体から宇宙まで多種多様の事業があり、若い社員がチャレンジできる風土と、人財を大切に育てる教育環境があります。共に研鑽し、共に失敗し、そして共に喜び合いながら人と企業が成長できる環境の整備に、これからも取り組んでまいります。

会社 DATA

所在地：東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー
創 業：1917 (大正6) 年5月
代 表 者：斉藤 文則
資 本 金：101億5,696万円 (東証1部上場)
従 業 員 数：連結：3,659人 単独：1,918人 (2021年3月末現在)
事 業 内 容：クリーン搬送機器、航空宇宙用電子機器、大型搬送システム、クラッチ・ブレーキ、モーションシステム、車両制御機器、プリンタシステム、自動車用試験装置、振動機、パーツフィーダ、産業インフラ、社会インフラ関連製品の製造販売など
拠 点：国内23拠点 (うち生産拠点は3拠点) 海外10拠点 (グループ会社)
U R L：https://www.sinfo-t.jp

